



左：副大臣として答弁（衆議院経済産業委員会） / 右：記者の囲み取材への応対（総理官邸）

# イノベーションのチカラで 多様性を包摂する社会を実現

～Inclusive Society for diversity by Innovation!～

人口減少社会において、日本がこれからも経済成長を成し遂げるためにはイノベーションが不可欠です。キーワードは多様性と生態系だと平さんは語ります。また、イノベーションの成果を速やかに社会実装するためには、未来志向で規制をデザインし直す仕組みを日本の行政と政治にビルトインしなければなりません。日本の潜在能力を最大限発揮するために、政府のイノベーション担当副大臣として、またLaw Makerである国会議員として、今日も平さんは走り回ります。

## 宇宙政策



国家の成長戦略のひとつの柱として宇宙産業を育成していくことに平さんは取り組んでいます。例えば、アメリカでは国家プロジェクトのミッションをベンチャー企業が引き受けて、国の資金で成長する形で、国を代表する企業・産業が生まれました。宇宙ベンチャーが次々と誕生している日本の状況も踏まえ、宇宙産業に多様な担い手がいる生態系を生み出し、自動車産業に迫るサプライチェーンを国内につくっていくといえます。

## 科学技術・イノベーション



日本の科学技術・イノベーションの力で社会や世界の課題を解決します。SDGs(持続可能な開発目標)もひとつの目標になるでしょう。そう語る平さんは現在、2021年から5年間の国家の科学技術基本計画の構想に取り組んでいます。特に注目すべきは量子コンピューターやカーボンキャプチャー、アバターロボットだといえます。

## 防災・減災・災害対応

ITを活用することで課題解決に取り組む平さん。例えば、シェアリングエコノミーを活用し住民の域外避難を可能にする「防災民泊」の検討を指示しました。衛星システムを利用した正確な被災状況の把握。さらに、マイナンバーカードを活用した被災地の避難所運営の効率化を進めることや被災者支援の迅速化に取り組んでいます。地球温暖化で新たな局面に入ったとも考えられる自然災害に対応していくといえます。

## 外交

副大臣として、アジア防災会議出席のためトルコを訪問、ソイル内相とのバイ会談を行った平さん。また、日中韓閣僚級防災会議に日本の代表として出席し、合意文章に調印しました。両会合で防災分野へのITの実装を訴えました。日米欧国際量子技術シンポジウムでは、この分野での日米欧の強固な協力体制構築に貢献しました。

